

教員免許更新講習シラバス（選択領域分）

講座内容についての問い合わせ先...koushin@nara-edu.ac.jp(奈良教育大学総務課)

講 座 名		主 な 受 講 対 象 者	時 間	形 態
幼児の発達と教育		幼稚園教諭	6 h	講義
日 程	定 員	講師名（所属・職名等）		
8月13日（水）	40人	上野ひろ美（奈良教育大学・教授） 瓜生 淑子（奈良教育大学・教授） 横山真貴子（奈良教育大学・准教授） 宮下 俊也（奈良教育大学・准教授）		
会 場	試験方法			
奈良教育大学	筆記			
【講座の概要】 社会の急速な変動の中で、今日の幼児の育ちも変化してきていると言われる。講義では、教育・心理・保育内容（言葉／表現）の領域から、教員がこの議論を踏まえつつ、幼児への教育的関わりに求められる課題について、今日的に論じたい。受講生は、示された論点を日々の実践に重ね合わせながら捉えなおし、自らの教育的課題を深め論じてほしい。				
【小テーマ】教育・保育の思想と役割 （講師：上野ひろ美） 教育が、生活に根ざしつつ、子どもに知識や技術及び自立的判断を伴って仲間とともに生きる力、さらに現実を変える力を培う営みであることについて考える。またその場合に教師・保育者の果たす役割を考える。資料は、古典及び最新資料の双方を使用する。知識習得ではなく、教育・保育を考える発想ないし思考様式に重点を置きたい。				
【小テーマ】「心の理論」獲得と幼児期への移行を考える （講師：瓜生 淑子） 幼児が自分とは異なる他者の心の存在に気づくようになる（「心の理論」獲得）のは4歳頃と言われている。しかし、欧米での研究結果に比べ日本の子どもたちはややその時期が遅れると言われている。このことを文化や育児・教育の要因を含めて考えてみたい。				
【小テーマ】言葉を育てる保育 （講師：横山真貴子） 最新の絵本を紹介しながら、子どもの発達を見据えた保育の場ならではの絵本のあり方を考える。「言葉を育てる」視点から、内外の絵本を用いた実践例を紹介し、絵本選択、環境整備、読み方、保育への展開などを、実技を交えて解説する。				
【小テーマ】幼児の表現のプロセスと「こどものうた」の指導方法 （講師：宮下俊也） 良質な経験からイメージの創出、それに基づく音や動きによる表現、そして表現されたものに対する受容や共感までのプロセスを、事例を交えて解説する。また昭和30年代に創られたこどものうたと昨今のそれを中心に、その指導法や伴奏法について実際に歌いながら解説する。				